

事業所における自己評価総括表

事業所名	放課後等デイサービスおとのわ
保護者評価実施期間	令和6年10月15日～令和6年11月9日
保護者評価有効回答数	対象者数： 36 名 回答者数： 34 名
従業員評価実施期間	令和6年10月15日～令和6年10月31日
従業員評価有効回答数	対象者数： 8 名 回答者数： 7 名
事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月1日

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分理解・観察し、お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析したうえで個別支援計画が作成されていること。	児童発達支援管理責任者が全指導員の意見を聞き、ニーズや課題を客観的に把握・分析・支援方針の共有を図っている。	個別支援計画に沿った支援が実行されているか、全職員で検討し、さらに目標設定を行っている。
2	お子様の状況・状態を関係各所と情報共有し合い、心身の健康や発達の状況等について共通理解を深めている。	その日の様子をしっかりと保護者様に伝え、共通理解を行っている。	保護者様との面談や会議の場において、具体的支援の内容等の時間を多く持ち、共通理解を深めていく。
3	五領域支援、3項目支援を適切に選択され、具体的な支援内容が設定されている。	変化していくニーズの把握に努め、「本人支援」「家族支援」「移行支援」を行っている。	様々な特性を理解したうえで、より質の高い支援が提供できるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や地域の子供たちとの接点が少ないこと。	利用児がデイと併用して利用している放課後等児童クラブとのかかわりが主となっている。地域のお子様と一緒に活動する機会は少ない。	様々な状況があるため、地域の方との共同活動を設定するのは難しいが、多くの方に参加いただけるイベント企画等を行っていく。
2	父母の会・保護者会の開催がなく、保護者様同士の交流の場を設けられていない。	常時保護者の参観・見学は可能であるが、申し込み者がおらず、周知が不十分である。	保護者様やご兄弟が参加できるイベントの企画を行っていく。
3			